

新規受託開始のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
この度、下記項目を新たに受託開始させていただくことになりましたのでご案内申し上げます。

2011年9月

◆新規受託開始項目

抗ミュラー管ホルモン（AMH）/ELISA 法

受託開始期日：2011年10月11日(火)受付分より

◆検査要綱

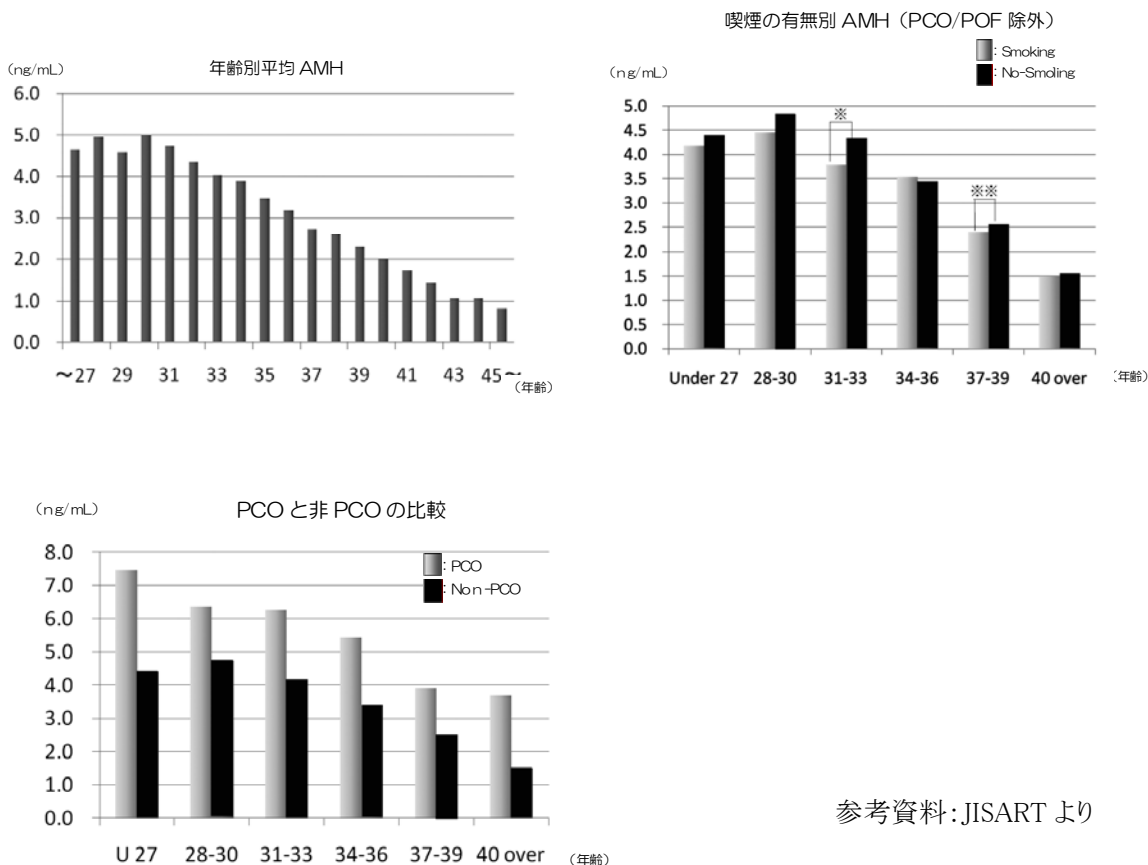
項目コード	5890
報告書名称	抗ミュラー管ホルモン
検査方法	ELISA
検体必要量	血清 0.5 ml・冷蔵
基準範囲	未設定 ng/ml
報告範囲	0.10～最終値 ng/ml
所要日数	4～8日
実施料	未収載

※詳細は裏面をご参照下さい。

抗ミュラー管ホルモン (AMH)

抗ミュラー管ホルモンは、女性において原始卵胞から発育する全胞状細胞等から産生され、加齢に伴い下降傾向を示すホルモンです。性周期の影響を受けにくく、発育細胞数と相関する事から、卵巣の予備機能の指標として注目されています。また、疾患との関連では多嚢胞性卵巣症候群 (PCOS) において高値となることが知られています。

女性の社会生活の多様な変化に伴い、卵巣の予備機能の評価は、婦人科領域での重要性を増しております。加齢に伴い卵巣機能は低下しますが、個人差がある為、個人の卵巣予備能に適した治療法の選択や治療計画の為に、抗ミュラー管ホルモンが大きな役割を果たすと期待されています。



参考資料: JISART より

◇疾患との関連
多嚢胞性卵巣症候群

◇関連する主な検査項目
黄体形成ホルモン(LH)、
卵胞刺激ホルモン(FSH)